

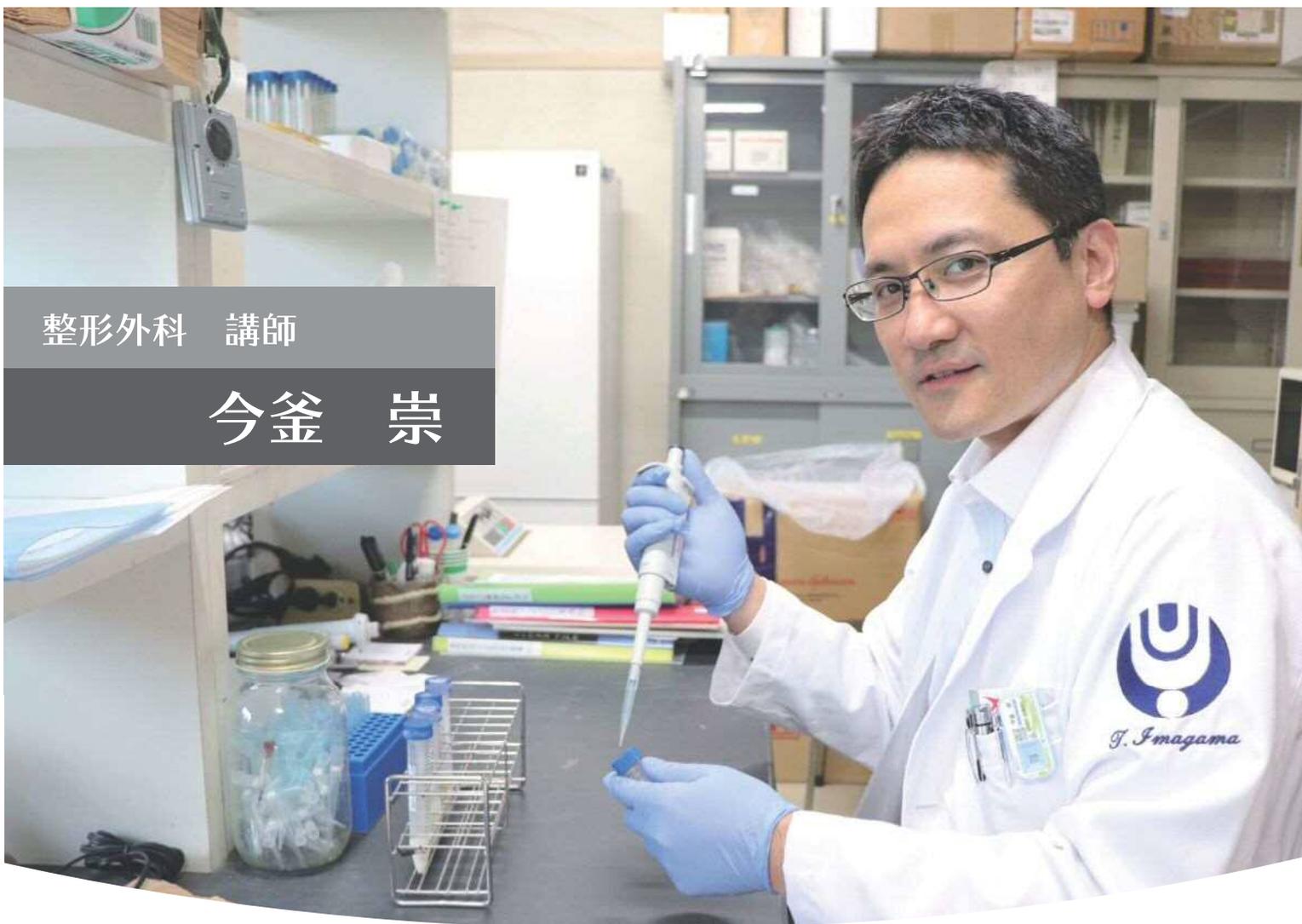
02



化膿性関節炎 早期診断のための研究

整形外科 講師

今釜 崇



かのうせいかんせつえん

化膿性関節炎とは

関節に細菌が入り、化膿し炎症を起こしてしまうこと。激しい痛みと発熱などが症状として現れる。診断に数日かかることもありその間に症状が進んでしまうのが問題。



Q. なぜ化膿性関節炎の早期診断が必要なんですか？

関節炎の症状

関節液・血液の採取

現状

検査

2~3日

診断

手術

検査から診断・手術に数日かかる



理想

検査

即日診断

手術

即日診断ができれば
すぐに手術が可能

現状、化膿性関節炎の診断までに数日かかり、その間に骨や軟骨の損傷が進んでしまっています。一日でも早く手術を行うため、早期診断が重要です。

今釜先生の研究

化膿性関節炎を発症した時のみに起こる関節液・血液の変化（特異的マーカー）を見つけ即日診断を可能にするための研究をしています。症状が似ている関節炎4つの関節液・血液をそれぞれ80例（計320例）ずつ集めながら変化を比較しています。化膿性関節炎の特異的マーカーが明らかになり新たな検査が確立されれば**関節の損傷が少ないうちに治療が可能**となります。

症状が似ている
関節炎4つ

化膿性
関節炎

関節
リウマチ

結晶性
関節炎

変形性
関節症

Q. 2030年、この研究はどうなっていると思いますか？



山口大学大学院医学系研究科
整形外科学講座
講師 今釜 崇

この研究を始めて5年程経過しました。他病院にも協力していただき、現在260例以上の症例が集まり、結果が出つつあります。今後、この研究結果が化膿性関節炎の早期診断に役立つ新しい指標となり、保険適用にもなると良いですね。

これが私のパワーの源

冬キャンプ



整形外科学講座
ホームページ



雪化粧の富士山の麓でキャンプをするのが目標です。焚火の炎を眺めていると癒されます。